始業式に思う　　（校長室より①）

４月５日木曜日　着任式・始業式が行われました。校長・副校長を含む 16 名の職員が新たに着任いたしました。新任校長として着任した私は、３月末に異動を拝命して以来、「始業式・入学式でどんなことを話そう？」とそのことでずっと頭も心もいっぱいでしたので、超（ウルトラ）緊張していました。生徒たちは、集合や整列で先生方に注意されるようなことも全くなく、整然と並び、前を向いて、礼儀正しく話を聞いてくださいました。

始業式では、新２・３年生の皆さんに、「新年度の始まりに当たり、東高生にしてほしい３つのこと」というテーマでお話ししました。次の３つです。

①生きるために、自ら主体的に勉強し続ける力＝**勉強力**をつけてほしい。
②社会に出て人の役に立つために必要な力＝**人間力**をのばしてほしい。
③自分の無限大の可能性を信じて**チャレンジ**してほしい。

テクノロジーの進化により、将来多くの職業が機械に奪われ、人間の働き方が大きく変化していきます。また同時に今の子どもたちの寿命は 100 歳を超えて延びていくと言われており、定年退職などなくなるかもしれません。子どもたちが、予測不能な激動の未来を力強く、幸せに生きていくためには、求められる学力も違ってきます。身に着けた知識を使って、自ら考え、表現し、ほかの人と助け合って、目の前の課題に立ち向かっていく力、実行する力が求められます。厚木東高校のキャッチフレーズは**「厚木東で挑戦！」**３つの力をつけるため、目標を高く掲げて、勉強や部活動、生徒会活動や学校行事と、日々仲間とともに最善を尽くし、自分をゴシゴシ磨いて、未来を切り開いていってほしいとお話ししました。

最後に、私の大好きな、「アンパンマンのマーチ」から一節を歌わせていただきました。「♪何のために生まれて、何をして生きるのか？答えられないなんて、そんなのは嫌だ！」（やなせたかし作詞・三木たかし作曲）

話を終えたとき生徒の皆さんから拍手が起こり、あとで何人かの先生方が「校長先生拍手が起こりましたね！」とか「歌が良かったです！」とか言ってくださいました。生徒たちがアンパンマンの先生だと覚えてくれたのが何より嬉しいです。

生徒に示した３つの課題は、校長である私自身への課題でもあります。お預かりした素晴らしい生徒たちに恥じないよう、全力でがんばります。